

高浜4号機

再稼働日程影響か

1次冷却水漏れ 原因特定続く

再稼働の最終準備を進めていた関西電力高浜原発4号機（高浜町）で二十日に放射性物質を含む一次冷却水が漏れた問題で、関電は

原因調査のため、二十一日に予定していた原子炉の温度や圧力を上げる起動試験を二十二日に延期した。原因の特定はできておらず、

二十六日前後に予定していた再稼働工程に影響を与えそうだと、原子力規制庁によると、二十一日朝から保安検査官

が立ち会い、現場確認している。漏えいがあった原子炉補助建屋の系統配管に圧力をかけ水漏れ箇所を調べているという。

関電は「今後の調査の進み具合によっては再稼働の日程に影響することもありうる」との認識を示した。

漏れたのは原子炉の熱を取り除く一次冷却水の一部。二十日午後、核分裂を抑えるホウ素濃度を調整する系統に通水した際、警報

が鳴った。冷却水の不純物を取り除く設備の近くに水たまりがあり、計三十四センチが漏れたとみられる。漏れた放射能量は国への報告基準の六十分の一で、環境への影響はないとしている。

4号機は核燃料の装填を終えており、二十六日前後に再稼働する見通しだった。3号機は一月二十九日に再稼働している。

（塚田真裕）